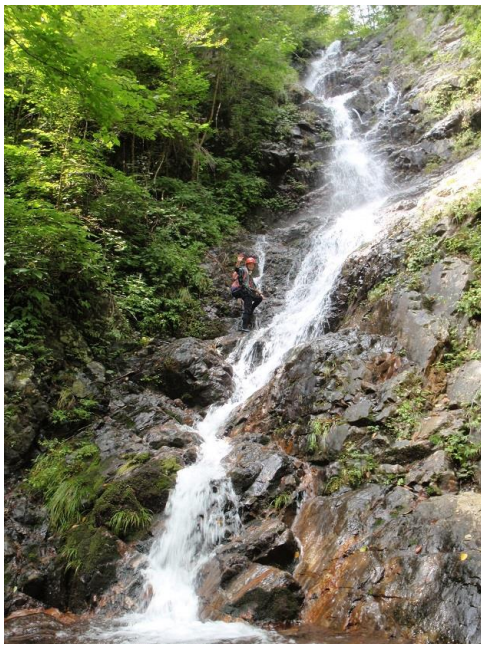
南秋川　　三頭沢

2017 年 9 月 9 日
メンバー　L.M田（会員外）、Ｓ藤（記）

　8：30 都民の森駐車場の温度計は 17℃。「肌寒いですね」と一抹の不安を感じながら車道を少し下って小屋の脇の細い仕事道から入渓。
薄暗いし寒いしヤブっぽいし…で、モチベーション↝
梯子が掛かった堰堤を超えると沢幅が広くなり釜のあるＦ１が見える。
濡れるのをいやがり釜の右へつって取りついたが、左へ移る一歩がヌメッていていきなりシャワークライムでホールドを探すことに。（意味ないじゃん！）
続くゴルジュの連瀑帯は Web 情報で“上半身まで釜に浸かって低体温になって…”とあったので、既に鳥肌全開の私は偵察に行ったM田さんの背中に向かって念を送っていた。
するとニヤリと振り向いて「ヤメましょう」。（よっしゃぁ！）
M田さんも今日の気温で突っ込む気にはならないようだ。
左岸から登りすぎないように三つ目の滝の落ち口へトラースするが、高度感もあり緊張する。ロープがほしいところだ。
20mナメ滝は赤い岩盤がとても綺麗なうえに滑らないので、調子に乗って出口の滝を直登チャレンジしたらまたもや一歩に行き詰まり、お助けにすがり無駄な水浴びをしてしまった。（寒！）その上も滝が続き、身体が乾く間がない。
40m大滝は下部 10mほどを左壁からフリーで登り、写真M田さんの上のバンドを右壁へ移動するが、M田さんが「滑る～！」と大量のシャワーをくぐるのを見てビビリまくって突破。「ギャラリーが見てましたよ」と振り返ると、つり橋にハイカーが集まっていて私のへっぴり腰が激写されてしまった。



頭上の支点を取り、M田さんがリード。
支点を超えると姿が見えなくなり、滝の音で声が聞こえるか心配になる。大声を掛けるが返答なし…するとかすかに「解除～」。その後は不安なままロープが引かれるのを待つ。（打ち合わせ必須）
ギャラリーが増える中、滑らないホールド・スタンスを探しながらひたすらシャワークライムをして、滝上ではお互いびしょ濡れの姿を見て安堵と充実感で笑い合った。
頂上はお腹いっぱい充実したので割愛して、下山はつり橋から大滝を眺めて満足したあと“かおりの道”から森林館に寄って駐車場に戻り、急いで着替えて数馬の湯で温まった。

8：45 入渓－10：00 大滝下－10：45 終了－11：30 森林館